

がん在宅療養講演会

「もしも身近な人ががんになったら…」

日本では2人に1人ががんになる時代が来ています。

大切な人が、あなた自身が、がんになったら、あなたはどうしますか？

「緩和ケア」は、がんと診断された時から、患者や家族のからだ・こころ・暮らしをサポートするものです。

もっと「がんの緩和ケア」のこと知ってください。そして利用してください。

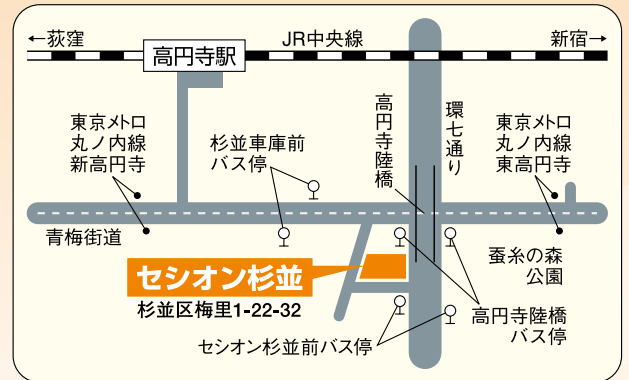
【日時】平成28年2月13日(土)

14:00~16:30 (開場13:30)

【会場】セシオン杉並 ホール

【費用】無料

【申込み】不要 (直接会場へおいで下さい)



第1部 講演会

「ひとりひとり、別々の乳がんです ~検診から緩和ケアまで~」

【演者】東京医科大学 乳腺科学分野准教授 **山田 公人** 医師

Profile

1990年 東京医科大学卒業、医学博士

東京医科大学病院呼吸器外科を経て乳腺科に入局

1992~94年 米国 ケースウェスタン大学留学

日本外科学会指導医、外科専門医、日本乳癌学会評議員 同指導医、

乳腺専門医 東京医科大学病院 緩和ケアチーム兼任



※講演会終了後、杉並区からがん検診のおしらせがあります。

第2部

「もしも身近な人が がんの再発といわれたら」

- 緩和ケアとは 越川病院院長 越川 貴史 医師
- 杉並区にある緩和ケア病院からのメッセージ
..... 救世軍ブース記念病院・佼成病院・越川病院・東京衛生病院 (アイウエオ順)
- 緩和ケアを提供した在宅医療の一例 成宗診療所院長 加藤 章 医師
- 杉並区における緩和ケアの提供 杉並区医師会副会長 甲田 潔 医師

その他：がん検診パネル展示、がんに関する関係団体展示ブースがあります。

問合せ先：杉並保健所 健康推進課 ☎03(3391)1355 または 杉並区医師会 ☎03(3392)4114

主催：杉並区医師会 共催：杉並区

後援団体：杉並区歯科医師会 杉並区薬剤師会 杉並緩和ケア研究会 杉並区訪問看護ステーション連絡会 杉並区居宅介護支援事業者協議会

緩和ケアってなあに？

緩和ケアとは、「重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケア」（日本緩和医療学会より）といわれています。

2人に1人が「がん」になる時代です。緩和ケアを上手に利用しましょう。

- ～がん治療中の苦痛を軽くして、しっかり治していくために
- ～再発した「がん」とうまく付き合うために
- ～進行して、治療をやめても自分らしい生活を送るために

緩和ケアは「がんの治療」と一緒に始めます。

「緩和ケア」という言葉に、どのようなイメージを持っていますか？

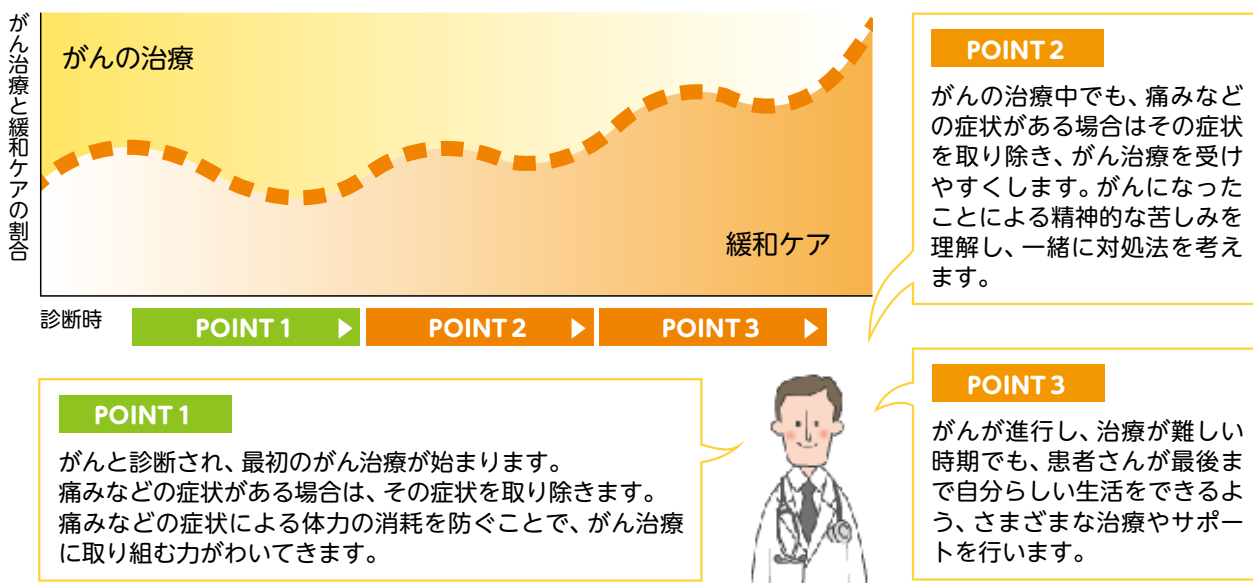
「がん治療ができなくなった方への医療」「がんの終末期に受けるもの」と思っている方も、まだまだ多いようです。

緩和ケアを受けると、こんなメリットがあります。

- ・がん治療中に経験する苦痛を伴う症状（吐き気、嘔吐、痛み、倦怠感など）が緩和され、がん治療に取り組む力がわいてきます。
- ・患者さんやご家族の不安や心配事など、心のつらさをやわらげるために緩和ケアのスタッフがお手伝いをします。
- ・がんと診断されたことによる社会的差別（就職・解雇問題など）への対応について、スタッフが一緒に考えます。

緩和ケアとがん治療のチャート

がんの治療に伴う苦痛（吐き気、食欲低下、痛みなど）の状況に応じて、緩和ケアはがん治療とあわせて行われます。



<緩和ケアNet：日本緩和医療学会より引用>

<http://www.kanwacare.net/kanwacare/point02.php>